

# 廃止発電所写真集

## 廃止発電所シリーズ 1 2

### 和歌山県有田川町「川口発電所（第二）」編

#### 諸元一覧表

発電所所在地	和歌山県有田川町尾大字川口	備考
発電所名	川口（第二）	
水系河川名	有田川水系有田川 （2級河川区間）	
事業者	大正10年12月 南海水力電気	
事業者変遷	昭和17年4月 関西配電	
廃止年	昭和35年	
廃止理由	昭和28年水害	
最大出力（kW）	700	
最大使用水量（m <sup>3</sup> /s）	5.84	
落差（m）	16.4	
位置情報	川口集落下流	

「関西地方電気事業100年史」：S62.10 より抜粋

以下、ブログより

有田川には現在 2 箇所（関電三田発電所、町営二川ダム維持発）がありますが、かつては数か所水力発電所がありました。

今回はその一つの「川口発電所」をご紹介します。

川口発電所は大正 10 年 12 月に南海水力電気が建設しています。

有田川町川口集落に取水堰堤を設置して導水路トンネルにて下流約 1 k m 導水し、最大 700 k W を発電していました。

水害により昭和 35 年 12 月に廃止となっていますね。

聞いた話では堰堤による嵩上げにより集落までが浸水してしまい水害トラウマになっているようです。

ここは謎が多い発電所ですね。

例えば発電所の構造や水車の型式などです。

資料が無いのでよくわかっていません。

最大使用水量は 5.84m<sup>3</sup>/s、有効落差は 16m そこそこなので、当時の技術から縦軸フランシスかなーと思います。現代ではカプラン水車などプロペラ系の領域ですね。

取水堰堤の辺りには残骸がありました。

取水口も同様に洪水により流失してしまっています。

導水路の入口は制水ゲートごとコンクリート閉塞されており立ち入りはできませんでしたね。。

導水路の内部がどうなっているか？おそらく崩落はしていないでしょう。

発電所の跡地は対岸から見えますが、有田川を渡河できないため詳細は不明です。

ここを再生させないと勿体ないとな一思っていたところ、2 年ほど前にゼネコンの「○林組」からどこでも良いから地点紹介してくれないかとの要望があり、ではと紹介してしまいました。その後の展開はブログの「地点紹介のリスク」によります。

結果、地点を乗っ取りされてしまいました。

これって、例えば私が発明者だとすれば特許権を取られたようなものですよ！

非常に不愉快であり後悔しています。

あんなええ加減なゼネコンに紹介しなければよかったと。。

川口発電所の再生状況については今後もブログアップするつもりです。

極悪非道な企業（特に「○林組」）は退場してもらわないとね！！

裏話ですが、この「○林組」は数年前から小水力に参画しているようですが、1 箇所も実現していないようです。全然ですね（笑）

多分、現場や本部スタッフの判断能力が低いせいでしょう。

あれではそらうまいかんわね（失笑）

---

上述は当時の本音であり現時点では多少反省しています。

# 推定位置図



# 推定ルート図



以下 取水堰堤跡



取水口



導水路入口閉塞









取水堰堤殘骸



右岸側より



取水口呑口残骸



導水路入口閉塞







以下 発電所跡

右岸側より 放水口健全







おそらく流木路跡



